

青森港ビジョン

～青函圏から世界へつながる GATE-Port 戦略～



青森港みなとづくり懇談会

青森港ビジョンとは

青森港を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、国、青森県や青森市をはじめとする地元関係者が20～30年の長期的な戦略を共有した上で、今後、青森港において連携した取組を着実に実施していくための指針

将来像と基本戦略

～将来像～

物流 (Transport)
青函圏の物流拠点

防災 (Against disaster)
北東北の広域防災拠点

交流 (Global tourism)
世界に開かれ誰もが親しめる空間

環境 (Environment)
自然豊かでふれあえる海辺

G
A
T
E
-
P
o
r
t

～基本戦略～

物流

- 1 本州・北海道を結ぶ物流の大動脈の形成
- 2 県民生活を支えるエネルギー拠点の形成
- 3 産業立地や新たな貨物に対応した物流拠点の創造

防災

- 4 港の防災・減災機能の確保
- 5 太平洋側・日本海側被災時の代替機能の確保

交流

- 6 クルーズ振興による世界との交流と地域活性化
- 7 青函交流圏を牽引する広域交流拠点の形成
- 8 観光客や市民が何度も訪れたい観光エリアの形成
- 9 市民に親しまれるまちなかのみなとづくり

環境

- 10 市民が身近に海とふれあえる自然豊かな空間の形成

将来像 1 物流 青函圏の物流拠点

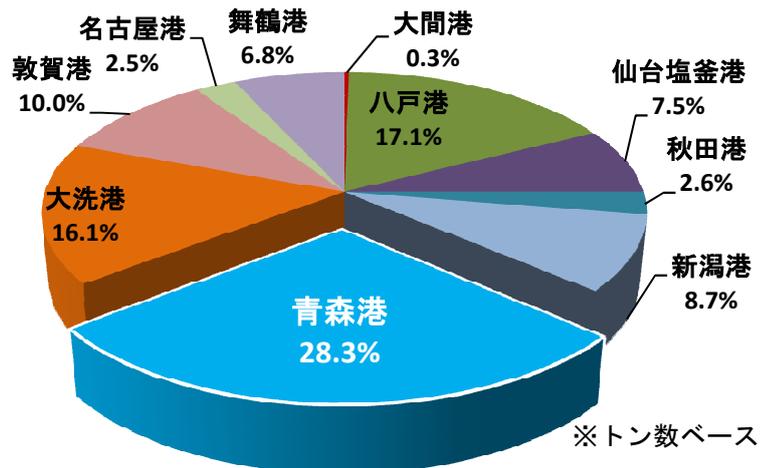
〈基本戦略〉

- 1 本州・北海道を結ぶ物流の大動脈の形成
- 2 県民生活を支えるエネルギー拠点の形成
- 3 産業立地や新たな貨物に対応した物流拠点の創造

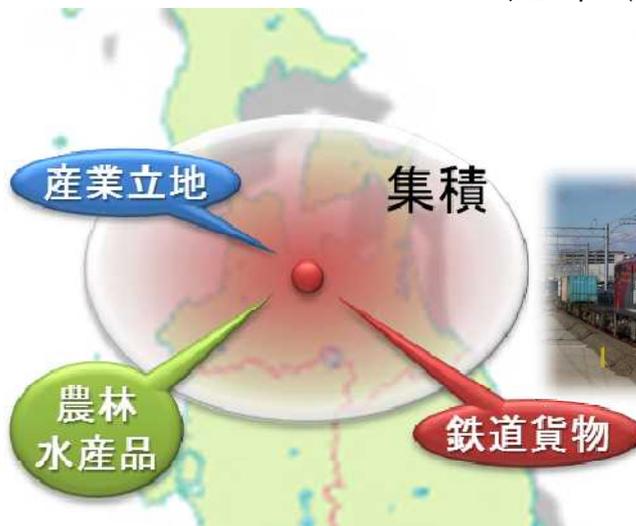
	取組の方向性	具体的な取組
①	北海道との基幹フェリー航路の維持・拡大	○事業者や利用者のニーズに対応した施設機能の維持・向上 ○トラック輸送の事業環境の変化を踏まえたフェリーターミナル等での対応
②	エネルギー資源の県内への低廉かつ安定した供給	○民間施設と連携した既存施設の機能の維持・向上
③	戦略的な産業立地と物流拠点の形成	○油川地区背後用地等への積極的な企業誘致 ○産業立地、県内農林水産品、鉄道等と連携したベースカーゴ創出 ○北極海航路等を意識した対応の検討
④	鉄道物流ネットワーク環境の変化への対応	○鉄道物流ネットワーク環境の変化を踏まえた物流効率化の検討



▲青森港フェリーターミナル



▲本州-北海道間のフェリー輸送貨物量の港別構成 (H24年 港湾統計年報)



▲産業立地、農林水産品、鉄道等と連携したベースカーゴ創出

将来像 2 防災 北東北の広域防災拠点

〈基本戦略〉

- 4 港の防災・減災機能の確保
- 5 太平洋側・日本海側被災時の代替機能の確保

	取組の方向性	具体的な取組
⑤	地震時の物流機能の確保と緊急物資輸送への対応	○耐震強化岸壁の機能確保
		○耐震強化岸壁と背後道路ネットワークとの連携
⑥	青森港BCPに基づく地震時の港湾機能の継続	○青森港BCPの実効性の確保
⑦	高潮・津波からの市街地と港湾機能の防護	○「Aomori-bayside Arc構想」の推進（交流、環境面を考慮した海岸保全施設の整備）
⑧	各種機能を確保するための港湾施設の老朽化対策	○ライフサイクルコストを考慮した戦略的な老朽化対策の推進
⑨	みなと防災情報の発信	○防災関連情報の市民や観光客への積極的な発信
⑩	ダブルリダンダンシーを有する広域防災拠点の構築	○広域防災拠点の災害時の体制と活動マニュアルの整備
		○広域的支援のための自衛隊や緊急物資輸送の基地等に利用出来る施設の整備
		○広域陸上ネットワークとの連携



▲災害時の物流機能と緊急物資輸送の背後圏



▲大規模災害時においても幹線物流機能を確保する耐震強化岸壁



▲広域防災拠点のイメージ

将来像 3 交流 世界に開かれ誰もが親しめる空間

〈基本戦略〉

- 6 クルーズ振興による世界との交流と地域活性化
- 7 青函交流圏を牽引する広域交流拠点の形成
- 8 観光客や市民が何度も訪れたいくなる観光エリアの形成
- 9 市民に親しまれるまちなかのみなとづくり

	取組の方向性	具体的な取組
⑪	クルーズ船の動向を踏まえた受入環境の整備	○大型クルーズ船や複数寄港への対応力強化の検討
⑫	クルーズ旅客に対する埠頭サービスの向上	○全国共通プラットフォームを活用したWi-Fi環境の整備と情報発信
		○多言語に対応した標識等の整備
		○多機能型旅客ターミナルの整備
⑬	地域をあげたクルーズの振興	○県内市町村と連携した「青森港クルーズ観光プラン」によるクルーズ誘致
		○サイクル・ツーリズムを踏まえた観光地内の移動へのレンタサイクルの活用
		○東京オリンピック等の開催と連携した集客
		○クルーズ寄港を活用した地場製品のビジネスチャンス拡大
⑭	フェリー等を活用した広域交流拠点の形成	○関係者と連携した観光プランによる交流促進
		○フェリーターミナル等の観光客の利便性向上
⑮	ウォーターフロント地区の活性化	○観光交流機能の維持・向上
⑯	海沿いの観光資源のネットワーク化による周遊性と価値の向上	○「Aomori-bayside Arc構想」による観光・周遊ネットワーク構築
⑰	市民が日常生活で歩いて行ける生活・周遊空間の形成	○青森ベイエリアにおける生活・周遊機能の維持・向上
		○「Aomori-bayside Arc構想」と連携した生活・周遊機能の強化



▲クルーズ振興のイメージ

将来像 4 環境 自然豊かでふれあえる海辺

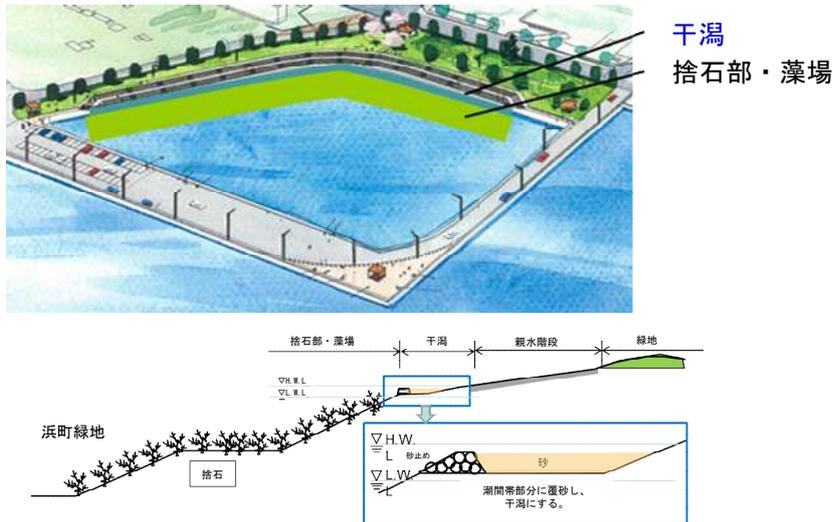
〈基本戦略〉

10 市民が身近に海とふれあえる自然豊かな空間の形成

	取組の方向性	具体的な取組
⑱	ウォーターフロント地区における魅力あふれる親水空間の形成	○青森駅前での干潟の整備と活用
⑲	多様でアクセス性の高い親水空間の連続的な確保	○「Aomori-bayside Arc構想」による親水ネットワークの構築
⑳	多様な主体と連携した自然の保全・再生	○駅前や浜町緑地での干潟の整備・管理と活用
		○駅前干潟を核とした環境再生の取組の青森港・陸奥湾全体への拡大



▲駅前干潟のイメージ



▲浜町緑地のイメージ

Aomori-bayside Arc構想

- 青森港の海岸部においては、高潮・津波からの市街地と港湾機能の防護が急務
- 観光・交流施設が点在しており、これらをネットワーク化することで周遊性と価値の向上に期待
- 市民は海岸部に身近に海とふれあえる魅力ある空間を期待
- これらの多様な要請に応えるため、交流・環境機能も考慮した海岸保全施設の整備を「Aomori-bayside Arc構想」として打ち出し推進

円弧
(ARC)

沿岸域を一体化

高潮からの防護



海とふれあえる空間

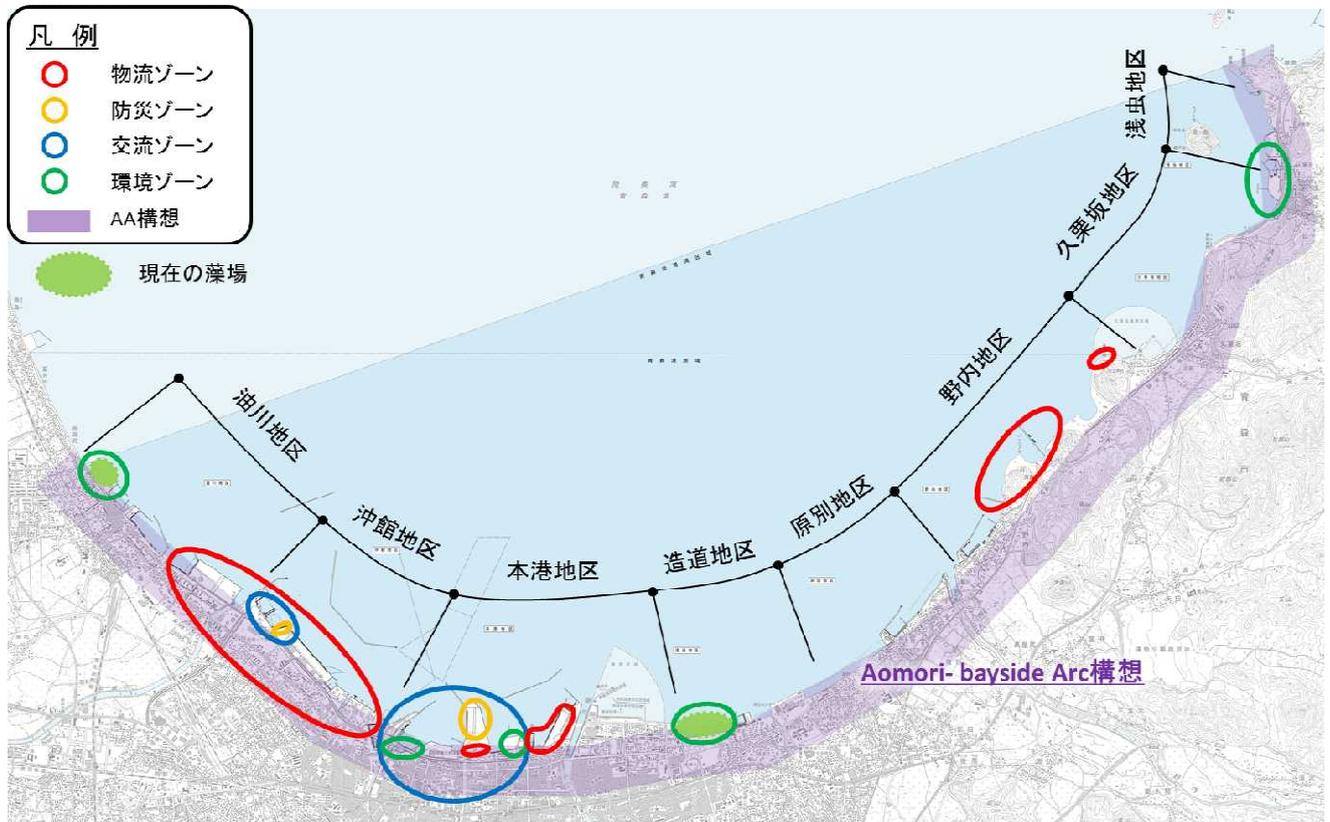


観光施設の周遊性・価値の向上

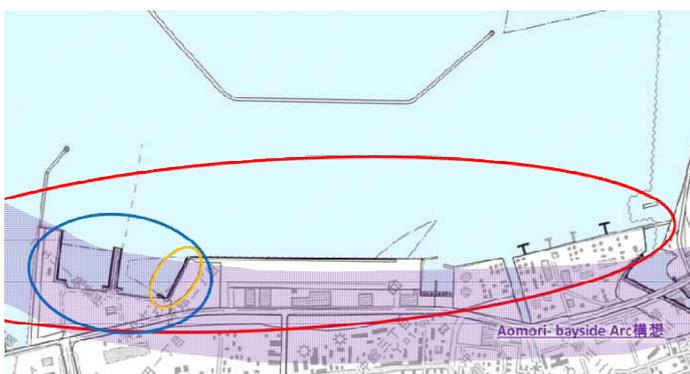


機能別ゾーニング

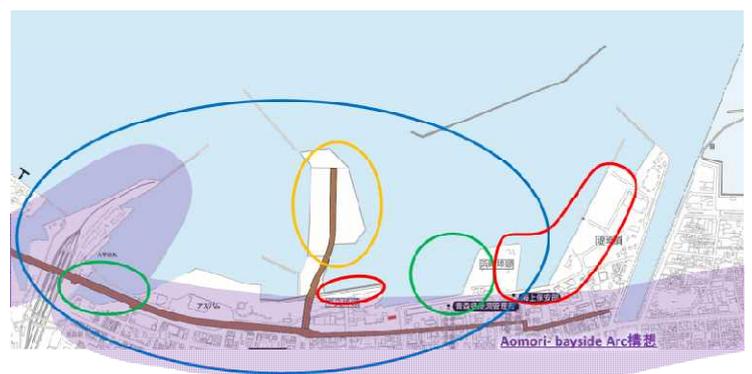
- 将来像と基本戦略を踏まえ、青森港の空間利用計画として、4つの機能別にゾーニングを設定
- なお、本ビジョンに位置づけられた「具体的な取組」の進捗状況を踏まえつつ、必要に応じて埠頭の機能再編を実施



▲青森港の空間利用計画



▲沖館地区の空間利用計画



▲本港地区の空間利用計画

【事務局】

青森港みなとづくり懇談会

- ・国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部
- ・青森県 県土整備部

【お問い合わせ先】

- ・国土交通省 東北地方整備局 青森港湾事務所
- TEL:017-775-1394 FAX:017-732-6480
- ホームページ: <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/aomori/>